

# 福井市

児童の自然体験活動を進める福井市自然体験交流推進協議会の設立総会—11日、同市美山公民館



## 250人受け入れ目指す

### 美山、東郷 自然体験推進協発足

#### 新年度 大阪の児童らに広報

福井市美山、東郷の2地区とNPO法人「自然体験共学センター」が連携し、農山村を舞台に児童の自然体験活動を進める「福井市自然体験交流推進協議会」が11日発足した。両地区を中心に豊かな自然や人的資源を生

かし、県内外の小学校に働き掛け、農家での宿泊やキャンプなどを行っていく。同協議会は「福井市美山地区における連携型の自然体験活動を考える会」「伊自良の里振興協会」「東郷ふるさとおこし協議会」と同NPOの4団体で構成。この日は美山公民館で設立総会が開かれた。会長に「福井

市美山地区」会長の前川勝己美山公民館長、副会長に「東郷」の後藤裕幸会長を選出するなど役員を決めた。事務局は同NPOが務める。設立総会には関係、協力機関として市農政企画課や市教委の担当者、県外のNPO代表らも出席した。体験プログラ

ムなど今後の事業の進め方や農家民宿、指導者

養成の充実を図ることなどについて協議。2010年度は5校250人の受け入れを目標に、実績を積んで市内の他地区と連携し、取り組みを広げていく方針を確認した。今後、大阪の小学校などで広報活動を行うほか、パンフレットを作製して県内や関西の約1千校に送り、参加を呼び掛けている。